

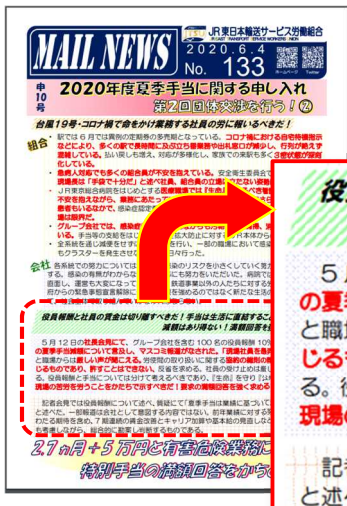
## 求めるのは満額回答！

### 第2回 団体交渉

# 働く仲間の声を届ける

## JTSU-E 申10号『2020年度夏季手当に関する申し入れ』

6月4日に第2回団体交渉が開催され、中央本部は私たち働く仲間の声をぶつけてくれました。会社は私たちの奮闘に理解を示しつつも、前向きな回答を出していません。また、過日報道された役員報酬の自主返納と夏季手当減額に関しては以下の通り…



**報道に対するみんなの気持ちを  
全力でぶつけてくれた！**

**役員報酬と社員の賃金は切り離すべきだ！手当は生活に直結することから  
減額はあり得ない！満額回答を強く求める！**

5月12日の社長会見にて、グループ会社を含む100名の役員報酬10%減額と社員組合の夏季手当減額について言及し、マスコミ報道がなされた。「現場社員を愚弄している」と職場からは厳しい声が届く。労使間の取り扱いに関する協約の趣旨を踏みにじるものであり、許すことはできない、反省を求める。社員の受け止めは厳しいものである。役員報酬と手当については分けて考えるべきであり、『生命』を守り『公共性』を守る現場の苦勞を労うことをかたちで示すべきだ！要求の満額回答を強く求める！

記者会見では役員報酬について述べ、質疑にて「夏季手当は業績に基づいて決めている」と述べた。一部報道は会社として意図する内容ではない。前年業績に対する努力と将来に7期連続の賃金改善とキャリア加算や基本給の見直しなどによる影響的に勘案し判断するものである。

中央本部 MAIL NEWS No.133 より

…と、何を意図していたのか問いたくなる答弁ですが、中央本部交渉団は私たちの不安や不満の**声を確実に届けてくれています！**

## 会社の経営体力は十分にある

### 満額回答や特別手当を 求めるのは問題？

自衛隊や多くの民間企業で  
続々と手当支給が決定されている\*

一方世間に目を向けると、コロナ禍のもとで多くの企業が第一線で働く従業員に手当の支給を決めています。最近では自衛隊員への夏季手当増額が決まったとの情報も。私たちもエッセンシャル・ワーカーであり、厳しい経営状況下は理解しても、これまでの奮闘への報いを求めることは何も間違っていない！

※情報源 ヤマト、従業員22万人に見舞金 1人最大5万円、取扱量大幅増で／6月6日 10:56 配信《共同通信》  
コロナ対応自衛隊員のボーナス増額 4000人に最大15万円／6月5日 20:00 配信《毎日新聞》

**全ての仲間の奮闘に満額回答を！**

**三多摩支部の組合員総力で本部交渉を支えよう！**